
月夜の光はすこぶる闇に

柊冬木 | 《ひいらぎともく》

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月夜の光はすこぶる闇に

【Nコード】

N03800

【作者名】

柊冬木《ひいらぎともく》

【あらすじ】

ある種族や能力のある場所にいる。

平凡な悪魔の学生、佐久夜 旨久実（さくや しぐみ）が
色々な事件などに、巻き込まれて行き。

平凡を取り返そうとするが・・・。

アクション、学園コメディです！

第1夜 光が世界に

この場所は悪魔、天使、その他色々な種族が住む不思議な場所だ。もちろん人間も例外でない。

もう一つ不思議に思うかもしれないがすべての種族が共存していて、種族によりタイプが違う能力と属性がある。それは追々説明していくことにしよう。

それから、俺は佐久夜 旨久実高校生で人間と悪魔のハイフだ。とりあえずめんどくさがる癖があるが気にするな。

今、学校に通学中だ。こんなこと言ったら・・・後ろから、うるさそうな奴の足音が！なんて考えた瞬間に背中に振動を感じた。

「おはよ、旨ちゃん！相変わらず一人かい？」

「そうだよ、わるいか？」

「別に悪くないよ？」

この、うるさいやつは滝央 摩耶ちなみに旨ちゃんは俺の旨久実から取ったあだ名だ。こいつは中学から一緒にめんどくさい性格をしてやがる。うるさいがそこそこモテるんだなあ。あと、注意だがこいつは男だ、何か求めてたかも知れないがラブコメじゃないからなあといいい忘れてたが、俺の能力は限りなく悪魔に近い闇閉め（クロウズ）だ。利用速度は1だ。いま、数名は二つ疑問に思っただろう。限りなく悪魔に近いってことと、利用速度についてだ。能力は今度にしてくれ、まず説明しやすい利用速度についてだ。利用速度は能力をどれほど活用し応用できるか

言わばレベルに近い。利用速度は最大10までである。1の俺は単純なことしかできない・・・

次に悪魔に近いってことだ。初めに言ったが種族によって能力などは違う。悪魔は攻撃に適している能力が多い。ちなみに人間は知能系だ。天使は回復、獣族は速度に適してる。注意だが多いだけだからな。だが、例外が生まれたりする。例えば、俺みたいな属性が闇

で悪魔に近いが知能系の能力を持ってたりな。この例外はハーフが基本になる。それ以外もいるらしいがその辺は裏社会ってやつだ。あと、摩耶は純血の天使だ。能力は治癒華^{リカバリーフル}利用速度は3だ。ここまですべてを知ってるのは一応タッグを組んだりするからだ。とりあえず説明はそんなところだな。

にしても、学校遠いなあ・・・

なんで、街中から山奥まで通学しなきゃいけないんだよ！

そう、俺の通う学校、種戦高等学校は山奥にあり、高校側は山などで実戦練習をするためらしいが・・・

そんなことは滅多にしない。決闘場としても使われるが、俺や摩耶は能力的にあまり関係のないところだ。

「おい！、佐久夜！」

・・・はあ、また面倒なのが来たよ。

「なんだ、葛原？」

こいつは葛原^{くすはら} 亞斗^{あとり}李純血悪魔だ。ヤンキー面してる、ビビリだ。能力は斬十字^{クロスナイフ}

利用速度は5。なかなか強い方なんだが・・・

俺に決闘で勝てないんだよなあ。相性悪いからさあ。

そっぴや能力について言ってなかったな、あんまり説明はしたくないんだが・・・

俺の闇閉めは対象の物を閉じ込めたり、隠したりできる。

ついでに治癒華は基本は回復だ。摩耶は頭がいいから攻撃に 응용が結構出来るんだが、あきらかに力が足りてない・・・

俺はやる気がなくて応用方法がなさすぎるだけだからなあ！

あと、葛原は力でカバーしてる。相性が悪いのはあいつは近接の攻撃がメインだからな。あいつの回りを闇で囲んでしまえば俺の勝ちなんだよなあ・・・

「旨ちゃん、なにぶつぶつ言ってるんだ？」

うるさい摩耶、読者様に説明中だ。

「佐久夜聞いてんのか！」

クズお前もつるせえぞ。

「佐久夜！」

「うっさい！」

「おう！？」

「摩耶、お前は驚きすぎだ」

「佐久夜、決闘しろ！」

出たよ、出たよ。こいつはこれしか言えねえのか？

「やだ。」

「じゃ、今回負けたら諦めてやる！」

「お前何時もそれ言ってる。しかも、なんで頼んでるのに上から視線なんだ？」

「なんで、利用速度1ザコに下手に出なきゃ、ならねえんだ！？」

「いつも、旨ちゃんに負けてるくせに・・・」

「ああ！？なんか言ったか？天使！って、うわ！」

「行くぞ摩耶、こいつ面倒だから閉じた」

「りょうかーい」

そろそろ学校だな。

そこで、俺たちは、前を向きなおした・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0380o/>

月夜の光はすこぶる闇に

2010年10月12日07時21分発行